

# WAVE

誰もが自分らしく生きる社会を実現するために。



2019.12.14開催「YouTubeに乗せて伝えたい! LGBTQのこと」の一場面

contents

## 第16期 アイセル女性カレッジ報告 P2

interview お世話になった地域に恩返し P4

コロナ禍緊急アンケート

家事の負担、収入の不安…切実な声 P5

AICEL TOPICS P6

これからの講座のご案内 P7



発行編集  
静岡市女性会館



vol. 92  
2020.06  
TAKE FREE

## 図書コーナーご案内

図書コーナーは、男女共同参画社会実現のために、情報の力で女性をエンパワーメントすることを目的とした女性問題の専門図書館です。

図書・情報の専門スタッフが、より良い人生をすごしていただくためのお手伝いをします。

女性、男性を問わずに利用ください。

◆場所 静岡市女性会館1F

◆利用時間 9:00~19:00

◆休館日 第2・4月曜日  
年末年始、蔵書点検  
図書整理日ほか

◆貸出点数 図書、雑誌あわせて10点  
CD、カセットあわせて2点まで

◆貸出期間 2週間

◆貸出方法 貸出には図書コーナー専用の利用者登録カードが必要です。  
免許証、保険証など公的機関発行の証明書をお持ちくさればその場で発行します。



アイセル21静岡市女性会館 情報誌 WAVE TAKE FREE

発行年月:2020年6月

編集・発行:静岡市女性会館(指定管理者NPO法人男女共同参画フォーラムしづおか)

相談無料  
秘密厳守

## 女性のための総合相談

### ひとりで悩まないで、まずはお電話を

結婚・離婚、恋愛、夫婦のこと、孤独、暴力・虐待、DV、職場の人間関係、セクハラ、将来への不安、妊娠・出産、子育て、母娘のこと、心身の不調…

女性の相談員があなたの気持ちを尊重し、一緒に解決を目指します。

受付時間	火	水	木	金	土
10:00 ~ 13:00	○	○	/	○	○
14:00 ~ 18:00	○	○	14:00 ~ 20:00	○	/

電話相談の事前予約は不要です。まずはお電話ください。

女性会館 相談専用ダイヤル **054-248-1234**

●女性相談員による面接相談(予約制/1回 50分)

電話相談のあと、ご希望や必要に応じてご利用いただけます

●女性弁護士による法律相談(予約制/1回 30分)

第1土曜日・第3木曜日 14:00~17:00

### 面接・事前申込予約制 40代以下の女性のための就職・転職・キャリア相談

まずはお電話でご予約ください。事前に相談シートをお送りします。

●申込受付日時/同月の1日(1月のみ5日)12:30より

●面談日/毎月第3木・金・土曜日 ①10:30~11:20 ②13:30~14:20 (1回50分)  
毎月第3水・金・土曜日(10月より曜日が変更となります)

女性会館事務室 **054-248-7330**

## アイセル21 にじいろ電話相談

性的マイノリティや多様な性についての専門相談窓口です。

- 恋人やパートナーのこと
- 誰にも話せなかったこと
- これまでの自分・これからの自分のこと
- 学校、職場でのこと
- 家族のことなど

毎月第2土曜日 14:00~17:00

にじいろ  
**054-248-2216**

## 静岡市女性会館 アイセル21

所在地 静岡市葵区東草深町3-18

会館時間 9:00~21:30

休館日 第2・4月曜日

年末年始(12月28日~1月4日)

T E L 054-248-7330

F A X 054-246-7833

E-mail mail@aicel21.jp

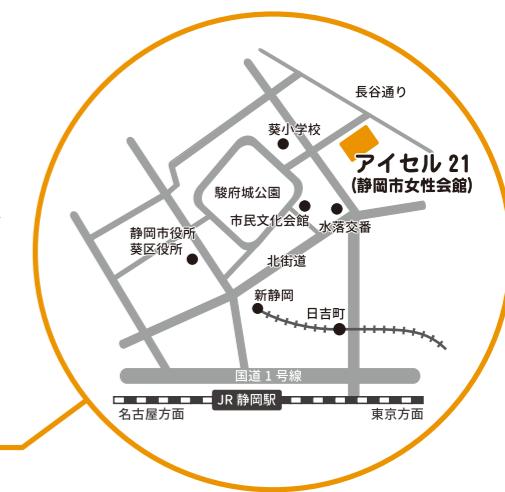
H P <https://aicel21.jp>

バス

JR 静岡駅北口10番のりば  
県立病院高松線  
「アイセル21」前下車

徒歩

JR 静岡駅北口より30分  
静鉄新静岡駅より20分  
日吉町駅より15分



# 「組織の中での働き続けるためのキャリア戦略」報告



チーム「温泉」

## 管理職1年目で苦しむAさんへ マネジメントとは

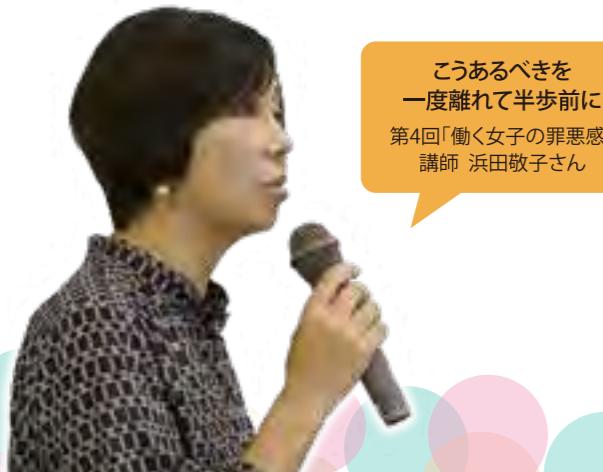
チームマネジメントについて考察した。Aさんというペルソナを設定し、管理職の悩みを身近な内容に落とし込んだ。管理職になることで抱える課題はあるが、女性が「自分のキャリアアップが楽しくなる」という視点で、前向きに捉えようとした提案した。管理職のための実用スキルとして、アサーティブを紹介した。



チーム「自分らしく」

## 誰もが自分らしく 働き続ける社会に向けて

幸福度に着眼して、社会の課題を探った。充実しているように見える女性にインタビューを実施。男性の育休取得率の低さとシングル女性への配慮不足が明らかになった。日本は他者への寛容さが低いとし、もっと周りの人と認め合い、違いを肯定するべきであると指摘した。こうした結果からダイバーシティ&インクルージョンの必要性を訴えた。



こうあるべきを  
一度離れて半歩前に  
第4回「働く女子の罪悪感」  
講師 浜田敬子さん



チーム「YYRA」

## 今日からできる! 効率的な働き方のヒント

多方面から働き方について調査を行った。限られた時間内で仕事をするために工夫していることについてのアンケートを行い、勤務形態に違いがあつても、効率化のための共通項があることを発見。メンバーのうち2人が職場で実践し、検証。まとめとして仕事と家事育児の両方を同時に見直せる効率化チェックリストを作成した。



チーム「ウェハース」

## 個を活かすチーム作り

個を活かす職場を目指すために、コミュニケーションの課題を統計とインタビューから探った。統計からは、男性に比べ女性の方が「協働・助け合い・承認」を重要視していると考察。インタビューではコミュニケーションの男女差を明らかにし、男性には具体的な直訳法で伝えるほうが良いと提案。自らがコミュニケーションを積極的に心かけることを宣言した。

アイセル女性カレッジは、1995年にスタートした女性のための人材育成講座です。第16期は、基幹社員として意欲や経営の視点・発想を持つ人材を育成することを目的としました。2019年7月から2020年2月まで、職場でステップアップをしたい女性を対象に講座を開催しました。AERA元編集長の浜田敬子さん、弁護士で(一社)若草プロジェクトの代表である大谷恭子さんなど、第一人者を講師に迎え、実践的なファイードバックや調査手法、法律、職場での多様性の意義など、知識やスキルを身に付けました。各自が抱える課題ごとにグループをつくり、様々な年代や業種、生活環境を持つメンバーとチームビルディングを体験しました。自主的に議論や調査を行い、最終回では全6グループが提案をまとめ、発表しました。(文責・事務局)

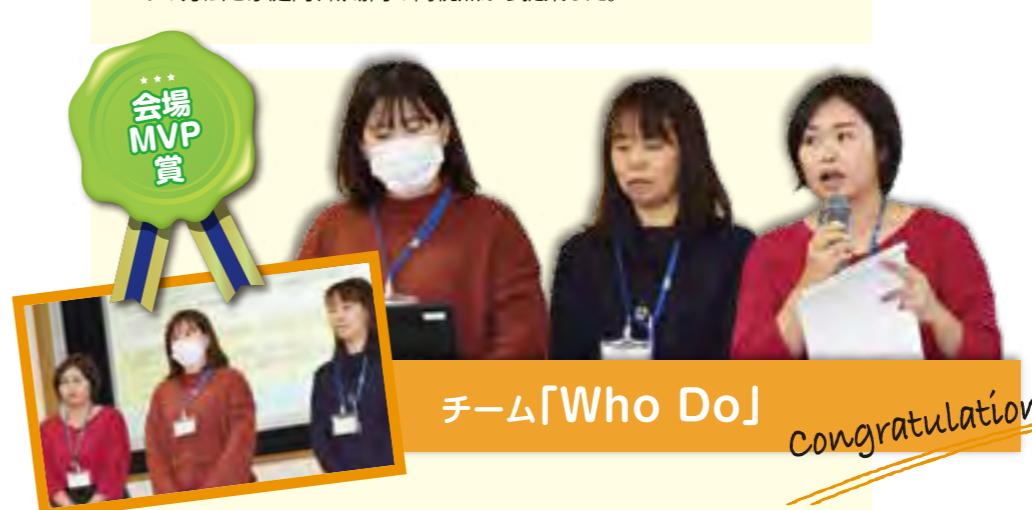


congratulations

チーム「太陽」

## 家庭内での ジェンダーフリーを目指して

妻である女性がもっと働きやすくなるために、家庭内で男性が家事育児に参加すること。そのためにはどうすればよいのか、育児休業に焦点を当てて調査した。まず海外と日本の制度を比較。次に育休取得者へインタビューを行い、実践例をまとめることで、男性が家事育児に参加するための方法を家庭内、職場内の両視点から提案した。



congratulations

チーム「Who Do」

## 本音が言える、対話ができる組織風土 ～今、私たちができること～

「気持ちよく働ける職場」という理想を阻害する要因に着眼して調べたところ、人間関係が良好かどうかがカギを握ると結論づけた。次いで職場内の人間関係を良くするための方法を調査し、既に実施している会社の好事例を、メンバー自身の職場で試行した。その結果からメンバー3人の職場に変化があったことで、有効性が確認できた。



日本はまだ男性に甘く、女性に厳しい  
第5回「安心して働き続けるための法律」  
講師 大谷恭子さん

# お世話になつた地域に恩返し

昨年、女性会館が主催したJo-Shizu防災講座「私の声を地域に活かす」には、防災に関心のある女性が多く参加しました。その中の一人、今年4月から葵区大岩2丁目町内会副会長になった遠藤初美さんにインタビューしました。この講座で学んだ「女性が地域で主体的に活動する大切さ」を胸に、40年以上住んでいる地域で、新しいリーダー像を模索しています。



大岩2丁目町内会  
副会長  
**遠藤 初美さん**

**【プロフィール】**  
三島市出まれ。結婚を機に静岡市へ。義母が営んでいた食料品店兼駄菓子屋を手伝いながら、2人の子どもを育てる。子どもの学校の役員や「みらい子育てネット」の活動を通じ、地域の人脈を形成。昨年義母が亡くなり、今は夫とふたり暮らし。行き先を決めないで出かけるドライブと花を育てることが好き。

## 上手に人を巻き込んで

ます。これまで防災・避難訓練みたいなイメージでしたが、災害が起きたあと、どう生きていくかが問題ですよね。様々なことを決めていかなければいけないときに必要なスキルです。発言するときは相手のことを考える。答えは「一つではない。いろいろな考え方を知ることが大事です」。



ちが女性に理解があるのでも、自然体でできるんじゃないかなと思いました。副会長になれば、防災のことのみんなに嬉しいやすいし。  
「地域で女性が活躍していくのに必要なことはどのようなことだと思いますか」

**「防災講座に参加したきっかけは、町内会長さんから「これから防災活動には女性が必要だから、防災リーダーになつてほしい」と声をかけられました。『みらい子育てネット』の仲間も年を重ね、生活の知恵を災害時に活かす勉強会をやつていたこともあって引き受けたのですが、**

**「印象に残った講座は何ですか？」**  
防災に関する知識がない。勉強しなくてはいけないと思っていた時に広報紙で講座のことを知り、申し込みました。

**「女性はそういう役目をやりたがらないと言われがちですが。」**  
女性はそういう手として活動するための人でいるという思いはありました。自分は、グイグイと人を引っ張っていくタイプではありませんが、周りに力になつてくれる人が大勢いますから。特に男性の役員さんた

**「これからやってみたいことは、地域の方にこれまで育ててもらった時代を育てるのも自分たちの役目だと思っています。防災の活動では、今年は少し「在宅避難に目を向けたい」と思っています。今の時期のように感染症が流行したら避難所には行けません。在宅で避難生活を送る人にはどう対応していくかを考えていきたくと思います。みんなを巻き込んでやっていきます。」**

## JO-Shizu防災講座とは…

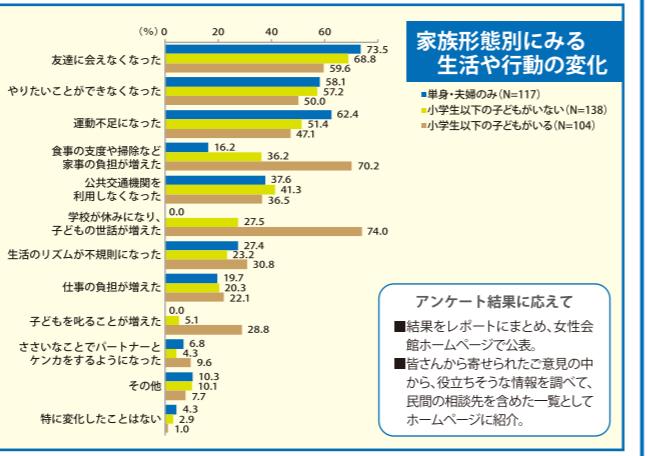
防災分野で女性が主体的な扱い手として活動するための材育成講座。平常時から女性の「声」を地域に届け、活かすこと

方法を学びます。2018年度は駿河区で実施。今年度は清水区で開催予定。

## 注目！ 家事の負担、収入の不安…切実な声

～コロナ禍が及ぼす女性への影響 緊急アンケートより～

新型コロナウイルスの感染拡大により「緊急事態宣言」が出された2日後の4月18日から静岡市女性会館では、女性の生活や心身への影響を把握するための緊急WEB調査を開始。10日間の期間中に359人の女性から回答をいただきました。



困りごとを尋ねた自由回答には、経済的不安、働き方への不安、ケア労働の負担増、保育園の登園自粛要請に伴う悩み、長引く学校休校の影響、妊娠中の女性への支援、夫婦や家族の問題など、女性のリアルな声がたくさん寄せられました。

これらの問題は、コロナ禍だから起きたわけではなく、普段からある問題が顕在化したと考えられます。女性会館では、このアンケート結果をもとに、今後も進んだ男女平等への道が後戻りしないよう、広く働き掛けていきたいと思います。

12/14  
...

### YouTubeに乗せて伝えたい！LGBTQのこと



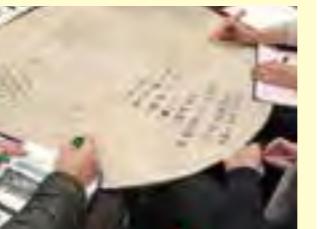
10代から70代までという、これまでにない幅広い年齢、そして多様な性の人が参加しました。全国、旅をしながらYouTubeを通してLGBTQについての情報発信をしているかずえちゃんは、ご自身の経験と現在の活動を真摯に話されました。「誰でもマイノリティな部分があり、マジョリティな部分もある」という講師からの言葉。多様性を認め合い、だれもが「自分らしく」生きることの大切さを感じる講座となりました。(表紙写真参照)

生活や行動の変化では、50%以上が「友達に会えなくなった」「やりたいことができなくなった」と回答。小学生以下の子どもがいる場合は、「子どもの世話を増えた」や「家事の負担が増えた」が70%以上を超えました。心身への影響は「気持ちが沈んでいた」「心が弱った」「家事の負担が増えた」など、「新型コロナウイルスのニュースを見てられない」は4人に1人程度います。

働く女性の3人に2人は、働き方に何らかの変化がありました。国が推奨するテレワークをしている人は24%にとどまりました。パートや自営で働く人が、子どもの世話をするために仕事を休んだり、出勤日数を減らしたりします。

2/15  
...

### どうする？！災害時のトイレ問題



NPO法人日本トイレ研究所の加藤篤さんから災害時のトイレ問題について聞きました。「地震後6時間以内に7割前後の人人がトイレに行きたくなつた」「避難所でも自宅でもすぐにはトイレが使用できず、時間を追うごとにトイレ環境が悪化。それに伴い被災者の健康状態が悪くなる」といった厳しい実態を紹介。個人でも簡易トイレを備える、地域で話し合い、防災トイレ計画を作成するなどの対策を解説し、避難所のトイレの決まりを話し合うグループワークも実施しました。

2/19  
...

### 部下・後輩のモチベーションをUPするマネジメント術



講師に柴田朋子さんを迎えて、若手世代とのジェネレーションギャップを感じる指導的立場にある人を対象に、部下や後輩に「耳の痛いこと」を上手に伝える方法ややる気をアップさせるフィードバックについて学びました。グループワークを通して「思い込みで判断するのではなく、困りごとの本質を明確化していくことが大事だと痛感」「課題を共有できて、その解決策まで導いて考えることができた」など感想が寄せられました。

# これからのお講座のご案内

7月～11月

## 信友直子さん講演会 「ぼけますから、よろしくお願ひします」

完璧な主婦だった母親が認知症に…  
認知症の母親と耳の遠い98歳の父親の様子を描いたドキュメンタリー映画『ぼけますから、よろしくお願ひします』の監督信友直子さんから、家族の歴史や認知症への対処法など、ほっこりと優しい気持ちになると評判の映画についてお話を聞きます。

日 時 7月23日(祝・木)  
13:30～15:30

対 象 30人

講 師 信友直子さん(映画監督)

参加費 無料

託 児 なし

申込み 7月1日(水)10:00から  
電話またはHPで(申込順)

## 第17期 アイセル女性カレッジ 50代から始める セカンドキャリアデザイン

人生100年時代と言われる今、「本当にやりたいことは何だろう?」「今の仕事は何歳まで出来るだろう?」と考えることはありますか?男性よりも女性の方が長生きすると言われます。これからの自分の生き方や働き方を考え、自分のやりたいことを見つけて最初の一歩を踏みだしましょう。

日 時 10月3日(土)スタート  
全6回+選択講座1回  
13:30～16:00

対 象 45歳以上の女性 20人

参加費 3,000円

託 児 公開講座のみ有

申込み 9月15日(火)17:00まで  
郵送もしくはHPから申込  
(多数選考)

## 子育て中のママを癒す フラタイム

フラは文字の無い時代から、自然への感謝や人々の心を伝えていた伝統的なハイの踊りです。まだ言葉が話せない子どもとフラを通じて心を通わせながら、ママの身体と心をリフレッシュしましょう。子どもを抱っこして踊ったり、ママ同士交流したり、楽しい時間をお届けします。

日 時 7月28日(火)  
10:00～11:30

対 象 1歳から未就園児の親子 12組

講 師 大林厚子さん  
(フラダンス教室 主宰)

参加費 無料

託 児 なし

申込み 7月17日(金)17:00まで  
電話、またはHP(多数抽選)

## 後悔しないための 離婚の法律知識

昨年に引き続き、①基礎知識 ②お金 ③子どもをテーマに、3回シリーズで学ぶ女性のための法律講座。「離婚」の2文字が頭をよぎった時、感情にまかせずに、正しい法律知識を学び、長期的な視野に立って主体的に考えられるように、女性弁護士が離婚に関する法律知識を分かりやすく解説します。

日 時 ①9月9日(水)、②10月14日(水)  
③11月11日(水)  
各日10:00～11:30

対 象 各回女性 20人

講 師 山本華子さん(弁護士)

参加費 無料

託 児 各回要申込み、1歳～未就園児  
子ども1人につき500円/回

申込み ①8月7日(金)、②9月10日(木)  
③10月15日(木)、各日10:00から  
電話またはHP(申込順)

## 人生100年時代の お葬式とお墓

人生の終末期、自分のお葬式やお墓をどうしたいと考えていますか?配偶者や子どもも高齢化し、家族の有無に関わらず、最後はひとりになる可能性は誰にでもあります。小谷みどりさんから今時の葬送の現場や備えについてお聞きします。

日 時 10月9日(金)  
13:30～15:30

対 象 どなたでも 30人

講 師 小谷みどりさん  
(シニア生活文化研究所 所長)

参加費 無料

託 児 なし

申込み 9月7日(月)10:00から  
電話またはHP(申込順)

## 相次ぐ児童虐待、そしてDV ～虐待死事件の取材を通して～

「なぜ母親は我が子を救えなかったのか」。Wリボンの啓発事業として、数々の虐待死事件の取材・執筆を続けてきたルポライターの杉山春さんをお迎えして、密接な関係の中で起きるDVと虐待の実態や相互の関わり方について学びます。暴力根絶のために、今、私たちができることは何かを考えていきます。

日 時 11月17日(火)  
14:00～16:00

対 象 子ども・女性支援に携わる人 30人

講 師 杉山春さん(ルポライター)

参加費 無料

託 児 なし

申込み 10月13日(火)10:00から  
電話またはHP(申込順)

申込み先・問合せ先

静岡市女性会館 tel 054-248-7330 hp <https://aichel21.jp>

会場は、記載がない限り女性会館(アイセル21)になります。詳しくはHPでご確認ください。  
新型コロナウイルス感染拡大の状況により、講座が中止または延期になる場合があります。

## AICEL TOPICS



### 駿河総合高校 家庭科学習 成果発表展示

4月、駿河総合高校2年の家庭科を選択した生徒28人が「子どもと福祉」「SDGs」についてグループ学習した成果を、1階図書コーナーの掲示板で発表しました。

図書コーナーが団体貸出で提供した家庭科学習用図書も利用して、世界の子どもたちの現状、子どもの貧困、ワーキングプア、ヤングケアラー、男性の育休などの問題をテーマに、現状や背景、原因、解決策などを調べ、模造紙にまとめたものです。

当初は3月に授業で発表する予定が、新型コロナウイルス流行の影響で機会がなくなったとの相談を受け、急きょ図書コーナーで展示発表する運びとなりました。

4月末までの会期中、掲示板いっぱいに広がった高校生の力作や調査に使った本の展示を、来館した市民も足を止めて見ていました。



### 2019食工房の 大掃除ボランティア

日頃、アイセル21食工房をご利用いただいている団体に協力を呼びかけ、大掃除を行いました。当日は師走の慌ただしい時期にもかかわらず、毎年参加してくださる方や初めての方も含めて、8団体の有志16人の参加がありました。女性会館のスタッフと一緒に、調理台、ガスコンロ、冷蔵庫や食器戸棚などの汚れをきれいに落としました。終了後は「お疲れ様」「気持ちもさっぱりするね」と笑顔で声を掛け合う姿も見られました。室内が見違えるように明るくなつたところで、恒例の集合写真を撮影。参加していただいた皆さん、本当にありがとうございました!他団体のお互いの活動の様子を知ることができます。2020年もご協力よろしくお願いいたします。



### He For She 宣言

静岡市主催のイベント「ダイバーシティin 静岡」にて、UN Women(国連女性機関)が展開する、ジェンダー平等の実現

のための「He For She」キャンペーンに当会館の谷口年江館長が小長谷重之副市長と共に賛同の宣言をしました。女性会館というと、「男の人が行っていいの?」とよく聞かれます。もちろんです。女性を取り巻く問題は、女性だけでは解決できません。男性にもまた男性特有の課題があります。女性会館では、男性を対象とした講座も毎年実施しており、まさに、真のジェンダー平等達成のための地域の拠点となっています。

また静岡市も推進しているSDGsのキーワードは「誰ひとり取り残さない」です。そんな館長の思いを始めた宣言を紹介します。



### 図書コーナー リニューアル

蔵書点検とシステム変更に伴い、年末年始は例年より長く休みました。その間にフロアをリニューアルして新年には新しい図書コーナーで皆さんをお迎えしました。児童YA書架を自習コーナー近くに、準新着図書のワゴンをカウンター前に移動。特設展示コーナーや雑誌の展示台の位置も変え、落ち着いて本を閲覧できるスペースを作りました。更に2月には、子どもスペースを設置。ピンクと白色を組み合わせた新しいマットとベンチは、クッション性もバツグンです。また、文庫と新書の専用書架も増設して、今まで判りづらかったタイトルが見やすくなりました。HPの図書の検索・予約方法も一新し、貸出冊数の上限も5冊から10冊に増えました。新しい図書コーナーをぜひ体験してください。



ジェンダー差別に関し、どんな些細なことでも、違和感や理不尽を感じたとき、臆せずに声を上げてください。私たち女性会館は、その声を逃さないようキャッチしサポートします。

写真左から谷口年江館長、小長谷副市長、石川雅恵 UN Women日本事務所長